

社会を明るくする運動 伝達式が行われました

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。7月1日(月)に行われた伝達式では、岸田文雄内閣総理大臣からのメッセージが、小川地区保護司会ときがわ支部長の増田和代さんから渡邊町長へ伝達されました。



渡邊町長へ内閣総理大臣からのメッセージを手渡す増田支部長。

写真説明

高齢者等見守りに関する 協定を締結しました

7月11日(木)、埼玉西ヤクルト販売株式会社と、ときがわ町が高齢者等見守りに関する協定を締結しました。本格的な高齢化社会を迎える中で、高齢者が孤立することなく安心して暮らし続けていくため、地域全体で支え合う見守り活動などの取り組みが重要になってきています。この協定は、日々のヤクルトレディの宅配業務を通じ、地域の高齢者等に何らかの異変を察知した場合、ときがわ町に通報していただくことにより、地域で発生する様々な問題の早期発見に繋がるとともに、高齢者等が安心して生活できるよう、ご支援をいただくものです。



協定書をもつ渡邊町長と埼玉西ヤクルト販売株式会社小島辰彦代表取締役社長。

写真説明

「8020よい歯のコンクール」ときがわ町から3名が表彰

「8020運動」とは「80歳になっても自分の歯を20本以上保ちましょう」という運動です。20本の歯があれば、ほとんどの食べ物をかみ砕くことができ、おいしくなんでも食べることができます。6月16日(日)に東松山市保健センターで開催された、比企地域の「8020よい歯のコンクール」では、80歳以上で自分の歯を20本以上お持ちの方34名が表彰されました。ときがわ町からは大塚忠道さん、小林明美さん、小山正雄さんの3名が表彰されました。おめでとうございます。



表彰されたみなさんに、歯と口の健康を保つ秘訣についてお聞きしました

- ・1日3回丁寧に磨いています。歯ブラシを上手く使い、歯と歯の間も丁寧に磨きます。
- ・外出時も、可能であれば食後に歯を磨きます。
- ・左右のどちらかに偏って噛まないように気を付けています。
(大塚忠道さん・写真左端)
- ・歳をとってから、歯の大切さがわかり、食後の3回に加えて寝る前にも磨いています。
- ・歯間ブラシも使用します。
- ・定期的にかかりつけ歯科医を受診し、健診と歯石除去を受けています。
(小林明美さん・写真右から2番目)
- ・定期的にかかりつけ歯科医を受診し、歯石除去とフッ素塗布を受けています。
- ・歯みがきは1日3回、小刻みに丁寧に磨くようにしています。歯肉もマッサージュのため、柔らかい歯ブラシで優しく磨きます。
- ・梅干しの種も噛むことができます。
(小山正雄さん・写真右端)

歯や口には、噛む、飲み込む、味わう、話すなどの重要な役割があり、豊かに生きるために欠かせないものです。人生100年時代を迎え、誰もがいくつになっても生き生きと輝けるよう、歯と口の健康づくりに努めていきましょう。

写真左から、大塚忠道さん、東松山市副市長、比企郡市歯科医師会会長、東松山保健所長、小林明美さん、小山正雄さん。